

# 学校全体で取り組む朝読書

福井県立勝山高等学校

活用目的	読書指導	利用指導	
------	------	------	--

本事例のねらい	常に生徒の身近なところに本がある状態にすることがねらい。
---------	------------------------------

<p>本事例の概要（学校図書館等を活用した項目に★印）</p> <p>教職員が一丸になって従来どおりの読書活動推進に取り組んでいる。</p> <p>★(ア) 毎朝、始業時間前の10分間、学校全体で読書時間を設けている。</p> <p>★(イ) 「子供の読書活動の推進に関する法律」が成立した平成13年に実施が開始され、以降毎年活動を続け、令和7年で25年目となる。</p> <p>★(ウ) 学校図書館は始業30分前から開館し、生徒のニーズに応えるようにしている。</p> <p>★(エ) 毎朝必ず本を読む時間を設けることにより、常に生徒の身近に本がある。朝読書のおかげで始業前の学校図書館の利用が多い。日々部活動や勉強で忙しく本を読む時間のない高校生にとって、落ち着いて読書ができる時間を設けることは、卒業後も読書を続ける生涯学習への起点となっている。教員も本を読む姿を見せることによって、本を通してコミュニケーションが生まれ、生徒の読書意欲の向上につながっている。</p>
---



<p>本事例に関わった人（いる場合は○を選択してください）</p> <p><input type="radio"/> 学校司書</p> <p><input type="radio"/> 司書教諭</p> <p><input type="radio"/> その他の学校職員</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア</p> <p><input type="checkbox"/> 公共図書館職員 <span style="margin-left: 20px;">レファレンス</span></p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p>実践のポイント</p> <p>朝の読書の4原則「みんなでやる、毎日やる、好きな本でよい、ただ読むだけ」に則り、担任・副担任も共に読書することを推奨、本を読むこと以外は何も求めず、感想や記録などは取らない。</p>
---	---

資料	<p>・林公『朝の読書 実践ガイドブック』メディアパル,1997</p> <p>・大塚笑子『朝の読書 はじめの一步』メディアパル,1999</p>
----	---